

科学

屋久島で新種のゾウムシ

鹿児島県・屋久島の世界自然遺産登録地域で、小島弘昭・東京農業大学農学部教授らの調査チームが、ゾウムシの新種を発見したことを明らかにしました。環境省の許可を取り、本格的な調査に乗り出します。

共同で調査する養老孟司・東京大学名誉教授とともに学名を付け、日本甲虫学会で正式に発表する予定です。

場所は島のほぼ中央にある投石岳（1830メートル）の南西側の投石平。ヤクシマアセビの葉に複

数いるのを確認しました。

体長は8～10ミリ。黄金色と緑色の鱗片でおおわれ、黒いまだら模様が特徴。羽が退化して飛べないため、生息の範囲がとてせまい固有種とみられています。小島教授は「調査すればまだまだ島で新種が見つかるでしょう。世界遺産の価値を高



屋久島の世界自然遺産登録地域で見つかった新種のゾウムシ―鹿児島県屋久島町（撮影・小島弘昭）

めるためにも、さらに調査を進めるべきです」と話しています。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 新種のゾウムシが発見された屋久島は何県にありますか？

			県
--	--	--	---

③ ゾウムシが発見されたとき、なんという植物の葉にいましたか？

--	--	--	--	--	--	--	--

② 発見した場所は屋久島のどこですか？

島	の							
		(1830 ^メ トル)						

④ 新種のゾウムシの特徴を説明する文を完成しましょう。

体	長	は	～	ミ	リ	。			と	
			の	鱗	片	で	お	お	わ	れ、
							模	様	が	特
							徴			

なまえ【 】